

Cente Technical Information

発行番号	101-0114	Rev	第1版	発行日	2021/10/15
題名	独自APIでのディレクトリ検索時、エラーコード「CT_NOT_INI_D」が戻される不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.42				
影響API	rmdir_all, rmdir_all_uni, dinfo, dinfo_uni				
関連資料	なし				

【現象】

以下全ての条件を満たした状態で【影響API】を実行した場合、『CT_NOT_INI_D:-17 初期化(ini_disk)されていない』エラーが発生します。

- (1)fs_cfg.h内の FS_DINFO、FS_DINFO_UNI、FS_RMDIR_ALL、FS_RMDIR_ALL_UNIマクロの何れかを有効
- (2)fs_cfg.h内の FS_READDIR_WC、FS_READDIR_WC_UNIマクロを無効
※(1)がS-JIS用のマクロの場合はFS_READDIR_WCマクロを、
UNICODE用の場合はFS_READDIR_WC_UNIマクロを無効にした場合に発生
- (3)メディア内のディレクトリに対して【影響API】を実行

【原因】

【影響API】では内部的に opendir() を実行する事でST_DIR構造体の情報を取得し、ファイル又はディレクトリを参照する流れになっていますが、opendir()内での処理に問題がありました。

具体的には、opendir()の内部関数 DT_opendir()でディレクトリパス名を取得する必要がありますが、FS_READDIR_WCマクロ、又はFS_READDIR_WC_UNIマクロが有効の時にしか取得できておらず、【影響API】のマクロのみ有効にした場合は取得できておりませんでした。

ディレクトリパス名の取得に失敗した場合、その後の処理において本来アクセスしたいディレクトリでなく、APIがサポートしていないドライブ自体を読み出す処理として動作してしまい(A:¥, B:¥, C:¥...)、その結果、ドライブを全て読み出した後に「CT_NOT_INI_D」エラーが戻されていました。

【回避方法】

■運用での回避方法

fs_cfg.h の以下のマクロを有効にする事で、本不具合を回避する事が出来ます。

- ・FS_READDIR_WCマクロ
- ・FS_READDIR_WC_UNIマクロ

■プログラムによる回避方法

修正ソースにつきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上